

## 新潟市

# 当事者も 家族も 支援者も つながる つなげる

新潟市では・・・

誰もが安心して自分らしく生活することができるよう、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるための保健・医療・福祉関係者による協議の場として、既存の会議に当事者や家族を委員として加え拡充し、「新潟市精神障がいの地域生活を考える会」を令和2年度に設置しました。

精神障がいの有無や程度にかかわらず、人と人、人と社会がつながりながら生活できる地域を目指します。

## 1 自治体の基礎情報

新潟市



## 取組内容

- 「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」の開催(R2～)全体会(年2回)ワーキンググループ(年12回程度)「人材育成班」「ピア活動班」「企画・調査班」
- 地域移行・地域定着支援研修会(H26～)
- 社会資源見学ツアーの開催(H26～)
- 精神科病院情報交換会の開催(H26～)
- 当事者による普及啓発活動(H28～)
- 当事者活動記録の作成(R元)
- 当事者交流会の開催(R2～)
- 当事者・家族・支援者による合同相談会の開催(R3～)

など

## 基本情報(自治体情報)

障害保健福祉圏域数(R4年4月時点)	1	か所	
市町村数(R4年4月時点)	1	市町村	
人口(R4年4月時点)	779,988	人	
精神科病院の数(R4年4月時点)	10	病院	
精神科病床数(R4年4月時点)	2,409	床	
入院精神障害者数(R3年6月時点)	合計	2,224	人
	3か月未満(%:構成割合)	390	人
		17.5	%
	3か月以上1年未満(%:構成割合)	282	人
		12.7	%
	1年以上(%:構成割合)	1,552	人
	69.8	%	
	うち65歳未満	565	人
	うち65歳以上	987	人
退院率(R元年6月時点)	入院後3か月時点	66.7	%
	入院後6か月時点	83.3	%
	入院後1年時点	93.3	%
相談支援事業所数(R4年7月時点)	基幹相談支援センター数	4	か所
	一般相談支援事業所数	8	か所
	特定相談支援事業所数	48	か所
保健所数(R4年4月時点)	1	か所	
(自立支援)協議会の開催頻度(R3年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	2	回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況(R4年4月時点)	都道府県	—	か所
	障害保健福祉圏域	—	か所/障害圏域数
	市町村	有	1 / 1

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」

「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築を進めるため、保健・医療・福祉関係者が、互いに連携しながら、支援方策、役割等を検討し、また、顔が見える関係性を構築しながら、地域づくりに向けた課題などを協議する場を設置。（令和2年度～）

#### 【委員構成】

より当事者目線での協議ができるよう、既存の会議（「精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会運営委員会（※）」）の委員に当事者、家族などを加え拡充。

当事者（2名）、家族（3名）、精神科医、看護師、精神保健福祉士、相談支援事業所の相談支援専門員、基幹相談支援センター相談員、大学教員、障がい者就業支援センター相談員など。（委員17名）

（※）平成26年度から設置。官民協働、多職種で構成された委員で、関係機関職員の人材育成とネットワーク構築を目的に、毎年研修会等の企画・運営を行ってきた。

#### 【運営方法】

- ・「全体会」 地域の課題や各事業の成果等を評価し、支援体制や地域基盤の整備等について検討する（年2回）
- ・「ワーキンググループ」 全体会での協議を受け、地域課題の解決に向けた具体的な取り組みを検討、（年12回程度） 実施する

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

## 「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」 ワーキンググループ

- ▶令和2年度の「考える会」全体会において、3つのワーキンググループを立ち上げ、活動中
- ▶ワーキンググループには、「考える会」の委員以外の当事者、家族からも参加してもらっている

### ①人材育成班

班員4名

（当事者、精神科病院看護師、精神科病院PSW、基幹相談支援C相談員）

平成26年度から実施している人材育成のための研修会や社会資源見学ツアー等を継続するとともに、人材育成や普及啓発のための新たな取り組みについて検討する。

### ②ピア活動班

班員6名

（当事者3名、家族、精神科クリニックPSW、基幹相談支援C相談員）

孤立しない・させない支援体制づくり、話し相手や仲間づくりが必要であることから、ピア活動について検討する。

### ③企画・調査班

班員4名

（当事者、家族、大学教員、相談支援専門員）

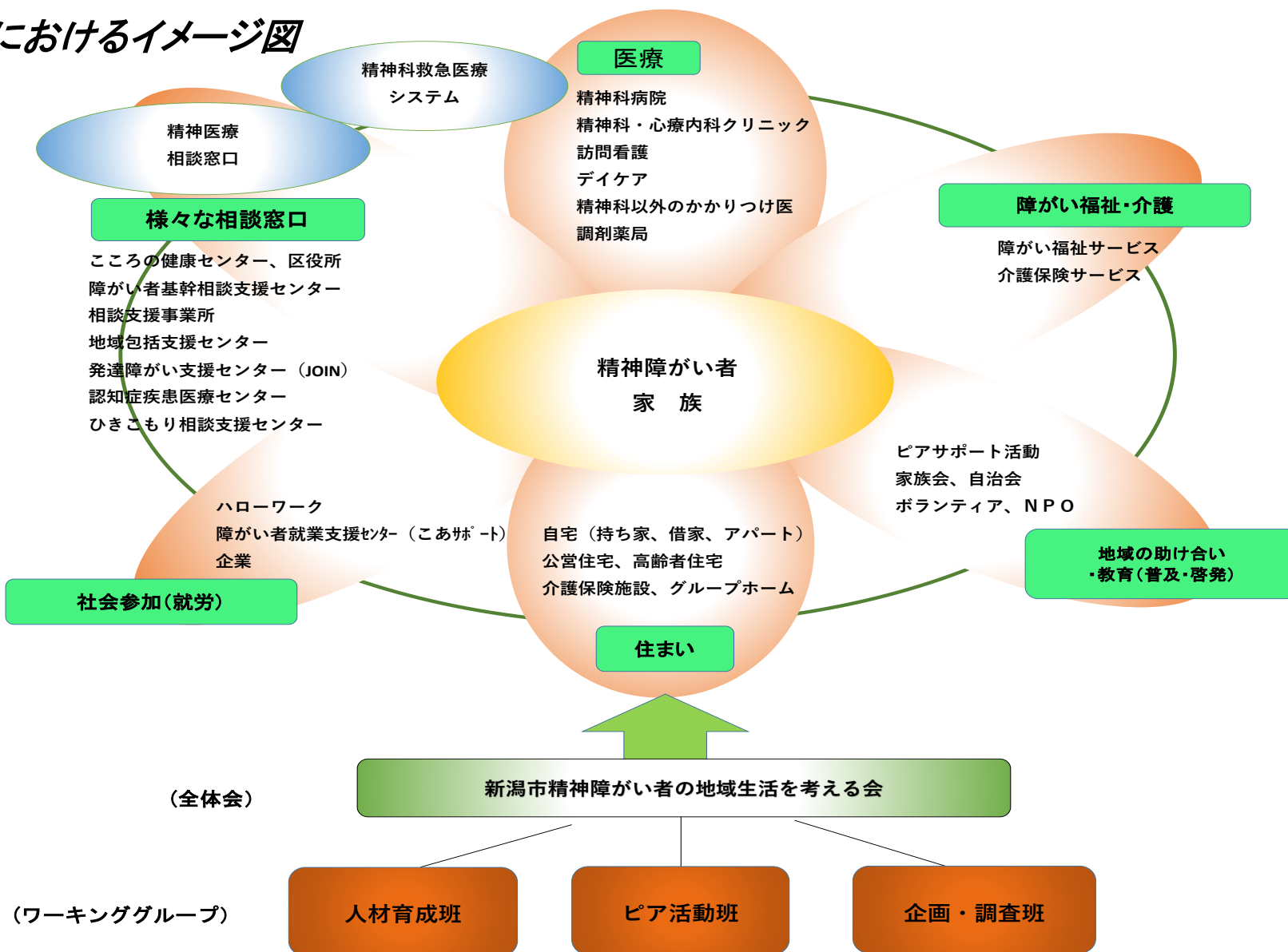
地域で生活する精神障がい者が、何に困っているのか、何を望んでいるのか等を具体的に知るために、既存のアンケート調査結果の分析を行い、さらなる調査の実施も含め、新たな取り組みについて検討する。

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成19年度	「新潟県退院促進支援事業」開始
平成23年度	「新潟市地域移行・地域定着支援事業」開始 地域体制整備コーディネーターの配置(～平成26年廃止)
平成26年度	「新潟市精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会」開始 ▶地域移行・地域定着支援研修会、社会資源見学ツアーの開催(平成26年～) ▶精神科病院情報交換会の開催(平成26年～) ▶当事者による普及啓発活動(平成28年～) ▶当事者活動記録の作成(令和元年) など
平成29年度	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」 国庫補助申請開始
令和2年度	「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」(協議の場)を設置 ワーキンググループの立ち上げ「人材育成班」「ピア活動班」「企画・調整班」
令和3年度	各ワーキンググループによる事業実施 ▶当事者・家族・支援者による合同相談会「みんなdeピア相談会」の開催 ▶当事者等交流会「みんなdeピア交流会」の開催 ▶高齢家族へのインタビュー調査の実施 ▶精神科訪問看護ステーションリストの作成

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

## 新潟市におけるイメージ図





## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和3年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R3年度当初)	実績値 (R3年度末)	具体的な成果・効果
①新潟市精神障がい者の地域生活を考える会(全体会)の開催回数	2回	2回	地域課題に向け取り組むワーキンググループ活動への評価を行い、新たな課題の抽出を行なった。
②地域移行・地域定着支援研修会の参加者数	100名 (オンライン80名 +会場20名)	72名 (オンライン71名 +会場1名)	毎年継続して開催していることで、支援者の人材育成に寄与している。
③社会資源見学ツアーのコース数	4コース	4コース	感染症対策のために、ツアー実施はできず、運営委員がまとめたレポートを関係機関へ送付すると共に、ホームページに掲載した。社会資源についての周知、情報発信ができた。
④当事者団体等との共同事業の開催回数	2回	2回	合同相談会および当事者等交流会の開催により、当事者、家族、支援者間のネットワークの強化が図れた。
⑤個別ニーズの把握	インタビュー調査の実施・分析	インタビュー調査の実施・分析	家族の思いについての調査・分析をすすめ、令和4年度に実施予定の当事者ニーズ調査に向けての方向性を明確にすることができた。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築推進のための協議の場として設置している「新潟市精神障がい者の地域生活を考える会」は、当事者と家族も委員に参画しており、当事者の目線を取り入れて協議を行っている。

課題	課題解決に向けた取組方針		課題・方針に対する役割(取組)
(1) 住まいの確保・居住支援	<b>「孤立しない、させない地域づくり、人づくり」</b> <b>「当事者・家族・支援者間のネットワークの強化」</b> (1)グループホームの現状把握やグループホーム職員向け研修会の開催 (2)当事者・家族・支援者による合同相談会や当事者等交流会の開催、多様な手段での情報発信について検討 (3)障がい者地域自立支援協議会(精神障がい班)との連携を図り、どのような居場所が必要なのか、地活Ⅲ型のあり方等について検討		行政
(2)必要な人へ届く情報発信			医療
(3)居場所の必要性			福祉
			関係機関・住民等
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           当事者・家族・医療・福祉・行政などの関係機関が連携し共に取り組む         </div>		
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和4年度末)	見込んでいる成果・効果
①考える会(全体会)の開催回数	2回	2回	地域課題に向け取り組むワーキンググループ活動についての評価 さらなる地域課題の抽出
②人材育成研修の参加者数	72名	200名	支援者の人材育成、精神障がい、精神疾患の普及啓発
③当事者団体等との共同事業の開催回数	2回	2回	孤立しない、させない支援体制の構築 当事者、家族、支援者間のネットワークの強化
④個別ニーズの把握	インタビュー調査の実施・分析	インタビュー調査の実施・分析	令和3年度実施のインタビュー調査報告書作成 当事者ニーズ調査の実施



## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール ①

	時期	実施項目	内容
全体会	5月	第1回 考える会全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の協議の場であげられた課題について協議、各ワーキンググループからの活動報告等</li> <li>各事業の取組状況、成果等についての評価、協議等</li> </ul>
	11月	第2回 考える会全体会	
人材育成班	未定	社会資源見学ツアー	支援者等を対象に、障がい福祉サービス事業所などの社会資源を見学 ※コロナ流行の状況により変更あり
	12月他	人材育成研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域移行・地域定着支援研修会</li> <li>ミニ研修会(3回) 「みんなde相談会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事者、家族、支援者等を対象とした研修会</li> <li>「親離れ子離れ」を年間テーマとして、研修会を実施</li> <li>ミニ研修会は、対象者を絞って内容を検討し実施</li> </ul>

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール ②

	時期	実施項目	内容
ピア活動班	9月・11月	合同相談会（2回） 「みんなdeピア相談会」	当事者、家族、支援者がそれぞれの立場から相談に対応 第1部：当事者の語り 第2部：質疑応答、情報交換、個別相談
	3月	当事者等交流会 「みんなdeピア交流会」	当事者団体の活動紹介、当事者同士および当事者と支援者との意見交換、交流等
企画調査班		当事者へのニーズ調査	第6期新潟市障がい福祉計画策定時に実施したニーズ調査をもとに、さらなるニーズ調査を実施
		インタビュー調査報告書作成	高齢家族に実施したインタビュー調査の報告書作成・日本公衆衛生学会にて発表予定
		精神科訪問看護ステーションリストの更新と課題把握調査の実施	市内の精神科訪問看護ステーションリストを更新しホームページへ掲載および各ステーションが抱える課題調査を実施